

スキルアップ・セミナー：認知・摂食嚥下機能に障害のある方への対応

—介護現場でも行えるマネジメントとリハビリテーションの実際—

本格的な高齢社会を迎えて、認知・摂食嚥下機能に障害のある方が増え、医療・介護現場で広く問題となつていきます。2013年度統計では、癌・心疾患に次いで肺炎が死因第3位になり、その多くは誤嚥性肺炎とされます。殊に介護現場では、言語聴覚士などの専門職種も少なく、対応に苦慮なさっていることと思います。本講座では、介護保険施設や在宅でも施行可能な摂食嚥下障害の早期発見法、マネジメント・リハビリテーションの実際について、認知機能障害の合併例を中心に、わかりやすく解説します。簡単な実習や嚥下食の試食も予定しています。

日程	時間	内容
8月23日 (土)	10:00~11:00	「摂食嚥下障害の徴候」 誤飲・誤嚥や窒息なく飲食するために口やのどがどのように動いているか、障害が生じた際には、どのような症状が現れるかを図や動画を交えて説明し、障害の早期発見・早期対応につなげます。
	11:10~12:10	「摂食嚥下障害の原因と予防」 摂食嚥下障害の原因となる病気や高齢化と、それぞれの摂食嚥下障害の症状について、検査動画を交えて解説します。なぜ障害が生じるか、どのような障害が生じるかがわかれば、どのような介護が必要なのか明らかになります。機能維持や介護予防の方策についてもふれます。
	13:00~14:00	「摂食嚥下障害のマネジメントとリハビリテーションの実際 —認知機能低下のある方を中心に—」 摂食嚥下障害の原因となる病気や高齢化と、それぞれの摂食嚥下障害の症状について、検査動画を交えて解説します。なぜ障害が生じるか、どのような障害が生じるかがわかれば、どのような介護が必要なのか明らかになります。機能維持や介護予防の方策についてもふれます。
	14:10~15:30	「誤嚥しにくい飲み方・姿勢の実習と市販嚥下食品の試食会・質疑応答」 誤嚥しにくい飲み方・姿勢、適切な介助の仕方を交互に実習してみましょう。多様な市販嚥下食が発売されていますが、一般的な知名度はまだ低いままです。味・香りも機能性も高くなってきましたので、試食してみましょう。

- 会場：県立広島大学 三原キャンパス（三原市学園町1番1号）
 - 講師：県立広島大学保健福祉学部コミュニケーション障害学科 教授 矢守 麻奈
 - 受講対象者：介護保険施設・訪問看護等に従事する医療・介護職員
 - 募集人員：30名（先着順）
 - 受講料：5,200円
 - 修了証：受講された方には、修了証を交付します。
 - 申込方法：①公開講座申込書（別紙）と②返信用封筒（長形3号）に82円切手を貼り、申込者住所・氏名（様も入れる）を記入してお申し込みください。8月中旬に受講料振込書と受講案内を送付します。既納の受講料は返還できません。定員に達し、受講できない場合、別途お知らせします。
 - 申込締切：平成26年8月1日（金）必着
 - 申込・問合せ先：〒723-0053 三原市学園町1番1号 県立広島大学三原地域連携センター
「スキルアップ・セミナー：認知・摂食嚥下機能に障害のある方への対応」係
TEL：0848-60-1200（直通） / E-mail：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp
- ※受講申込に伴う個人情報については、公開講座以外の目的には使用しません。
※本学ホームページにも掲載しています。

<主催：県立広島大学三原地域連携センター>

平成26年度 県立広島大学公開講座申込書

受講番号 (区分コードNo)

講座名	スキルアップ・セミナー：認知・摂食嚥下機能に障害のある方への対応 —介護現場でも行えるマネジメントとリハビリテーションの実際—
ふりがな 名前	
住所	〒
電話	() —
E-mail	
職種	

太枠内をご記入ください。

*受講申込に伴う個人情報については、公開講座以外の目的には使用しません。

----- (切り離さないでください) -----

受講票

受講番号 (区分コード)	ふりがな	
	名前	

講座名 : スキルアップ・セミナー：認知・摂食嚥下機能に障害のある方への対応

この公開講座の受講者として認めます。

平成26年 月 日

県立広島大学 三原地域連携センター
〒723-0053 三原市学園町1番1号
TEL : 0848-60-1200 (直通)

初回講座出席の際、受講票と受講料振込みを証明する書類を受付に提示してください。